



若あゆだより

第20号（令和7年10月28日）

岩脇小学校学校だより

社会の研究授業を行いました

10月23日、6年2組で社会科の研究授業を行いました。

いきなりですが、みなさんは社会科（特に歴史）にどのようなイメージを持っているでしょうか？「覚えることがたくさんあって苦手」「人名や語句が多くて覚えられない」というイメージが多いのではないのでしょうか。

今回の研究授業では、そんなイメージを打ち破るべく、子どもたちが自分たちの考えをいろいろと話しあい、自分たちの答を作り上げていく授業にチャレンジしました。

課題は「みんな（武士・農民・町人）がついてくる政策を考えよう！」です。

織田信長・豊臣秀吉・徳川家康らが活躍した戦国時代。さまざまな苦難を乗り越えて天下統一を達成しますが、そのあと、どのような政策が必要になってくるのか、自分たちで考えて案を作りました。それぞれの立場や思いを踏まえた政策の案が発表され、中には「なるほど！」と思わせるものもありました。

こどもたちはいきいきとした表情で取り組み、社会科は決して覚えるだけの教科ではなく、考えて未来を切り拓いていくことにつながる教科だと実感した様子でした。



市音楽会に向けて

11月7日（金）に夢ホールで阿南市小学校音楽会が行われます。岩脇小からは4年生が代表となって出演します。4年生は9月から本番に向け、音楽の授業だけでなく朝活動の時間にも猛練習を重ねています。

その練習の成果を校内発表会として、10月27日の全校朝会で披露しました。音楽会で予定している「手をつなごう～共に生きる～」を合唱で、「パラダイス ハズ ノーボーダー」を合奏で全校児童の前で演奏しました。4年生ははじめはやや緊張気味でしたが、曲が進むにつれて笑顔も見られるようになり、また、リズムに合わせて体を動かすなど、音を楽しむ様子が見られました。演奏後は全校児童から大きな拍手が沸き起こり、芸術の秋を共に楽しむ一時となりました。

